

令和4年度第2回通学路交通安全対策状況

学校名	路線名	通学路の状況	対策内容	事業主体
井宮北小	伝馬町新田9号線	細い道路から広い道路に出る場所が、ちょうど広い道路がカーブしているところである上、狭い道路は家の間にある。子どもたちは安全確認がしにくく、運転者から子どもたちが見えにくい。	校内での児童への交通安全指導を行う。	学校
美和小	農道	水路のふたに外れている箇所があり、児童通学時に落下の危険がある。	転落防止柵の設置については、今後、学校、保護者、地域住民と協議するとともに、校内で安全指導を継続する。	学校
足久保小	梅ヶ島温泉昭和線(梅ヶ島街道)	児童が県道を通行する際、当該箇所だけ歩道と車道の区切りがないため、すぐ脇を車両が通行する状況にある。	グリーンベルトを設置した。	道路
横内小	静岡清水線	自転車の通行量が多い上、地下道と歩道との間も狭いため、地下道から歩道に出るとき、自転車と児童の接触事故の危険を感じる。	注意喚起の看板を更新し、接触回避のためのラバーポールを設置する。	道路
城北小	上足洗麻機線	横断歩道が設置されているが、信号機が無い。朝は、通勤の自転車が自動車が多く、バスも通過する。	旗振り活動と交通安全指導を行う。	学校
千代田東小	上土長尾線	幅員が十分ではない道路で、朝は多くの車と歩行者が行き交う。登下校時に車との接触が心配される。	グリーンベルトに代わり、区画線による強調表示と横断歩道に注意喚起のピクトグラムを設置した。また、道路の端を1列で歩くことを指導したり、旗振りと地域ボランティアを置いたりすることで引き続き安全確保を継続する。	道路警察学校
服織小	羽鳥1号線	ゼブラゾーンが引かれているものの、ドライバーからも見通しが悪かったり、自動車が内輪差で入り込んでくる。	ラバーポールを設置した。	学校
安東中	城北高校南線 起点	通学時間帯に、車、自転車、歩行者が行きかうため、接触が心配される。	高校と中学で安全対策について対応を協議する場を持つ。	学校
観山中	静清バイパス側道	歩道の両側の草木が生い茂り、歩道の幅が狭くなったり、視界が悪くなったりしている。	雑草の伐採作業を実施した。	国道
長田西小	丸子金属団地1号線	商業施設の駐車場から多くの車が出てくる。	商業施設に対し定期的に植栽の手入れをしたり、出庫を知らせるランプを設置することを要望する。	学校
長田西小	藤枝静岡線	車の交通量が多い。途中から歩道がなくなり、道が狭くなる。ごみの日にはごみ置き場がごみで広がり、道路がさらに狭くなる。	外側線とグリーンベルトを書き直す。	道路学校
長田東小	東新田1号線 終点	下校時には交通規制が解除され、車や自転車の通行がある。多くの児童が歩く場所であるが、見通しが悪く車や自転車の確認がしにくい場所である。	各種路面標示を塗り直し、北進する車に対して、減速を促す標示を検討する。また、学校で交通安全指導を継続して実施する。	道路学校
入江小	桜橋追分二丁目1号線	入江小東門の前の車道を渡って登下校する時に、横断歩道がないため、左右の安全確認を十分に必要がある。また、車から歩行者も見えにくいため車との接触が心配される。	外側線が設置されている範囲(校地のフェンス沿い)に、グリーンベルトの設置を検討する。校内で児童への安全指導や、自治会ボランティアによる見守り活動などのソフト的な対策で安全を確保する。	道路学校
有度一小	一里山長崎1号線	踏切の左右の歩道は狭く、大変危険である。	現在、両側に歩道を設置するため、改良協議が進行中だが、当面は東側を通らず、西側の歩道を通るよう、学校で安全指導を継続する。	道路学校
興津中	興津中町谷津線(州道)	車道と歩道が区別されているが、道幅が狭い。	ドライバーに対し注意喚起の路面標示を設置する。	道路